

# モルタルマジック株式会社

鳥取県鳥取市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

## 独自の「粉体固形化技術」で全国の未活用素材と観光資源を組み合わせた観光土産品を開発

- 地域由来の未活用素材（阿蘇火山灰等）の発掘と観光資源活用で、全く新しい観光土産品を商品化
- 全国に散在する粉体を、特殊な接着剤で柔らかな質感を持たせ、固形化する独自技術を保有
- 競合商品にはない、観光地を象徴する素材を原料にすることで優位性を獲得

### 企業基本情報

所在地	鳥取県鳥取市気高町勝見 184-2
電話/FAX	0857-82-6660/0857-82-6661
URL	<a href="http://www.morutaru-magic.jp/">http://www.morutaru-magic.jp/</a>
代表者	代表取締役 池原 正樹
設立	2015年
資本金	100万円
従業員数	13人



### 会社概要

2010年鳥取砂丘の砂（国立公園外採取）を活用した土産物事業を開始し、2015年、関係会社から分社独立し、法人設立。同社独自の「粉体の風合いを残した状態での固形化」技術を発揮させ、各地域固有の未活用素材（鳥取砂丘の砂、阿蘇山及び桜島の火山灰や富士山の土）を固めた土産物を企画、製造、卸売を行っている。観光施設等の取引先は、9県で約240社（前年比100社増）にまで拡大している。



会社外観

### 革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

#### ▶▶▶ 地域由来の未活用な素材を発掘し、新しい観光土産品を開発

独自の「粉体固形化技術」を活用し、地域由来の素材（阿蘇火山灰等）と観光資源（くまモン等）を組み合わせ付加価値の高い商品を展開している。「球場の砂」「貝殻」等の商品化にも発展し、この度、広島市の平和記念公園の折り鶴の灰を固めた「折りの鶴」の製造に着手するなど新たな展開を見せている。デザインや耐久性で模倣は難しく、火山灰等未活用の素材活用にも繋がり、各地から引き合いも多く展開地域は拡大している。



地域由来の素材活用

#### ▶▶▶ 全国に散在する粉体を柔らかな質感で固形化する独自技術

少量の特殊な接着剤で粉体（砂や火山灰等）を固める技術を保有する。接着剤を大量に使用する模倣商品もあったが、コスト面と柔らかな質感の再現が難しく撤退している。この「粉体固形化技術」は、様々な素材に応用可能で、自由な成形性と耐久性を持つ。高い評価を背景に2016年よりJAXAと共同研究を開始し、月面上の砂や国内外の砂・火山灰の用途開発に保有技術を提供し、月面活用も視野に入れた新技術確立に向け貢献している。



鳥取砂丘モアイ

#### ▶▶▶ 観光地を象徴する素材活用で優位性を獲得

商品企画から製造、卸売に至る垂直統合と独自技術の「粉体固形化技術」を背景に、同社で観光地を徹底的にリサーチし埋もれている未活用の素材（写真：大量に廃棄される貝殻を活用）を発掘、原料とした観光土産品を企画・商品化する手法を確立した。同社の提案する「新たな切り口」は、観光地の魅力を引き出し、インバウンド需要獲得にもつながっている。同社は展開地域を拡大させているが、同様の手法で取り組み、成果を上げている。



ホタテの妖精